

フェン・シュイのポスト・ピリオド・インセクツ展 再び ザ・オポジットハウスへ



2010年7月

ザ・オポジットハウスはF2ギャラリーとパートナーシップを組み、2010年7月6日から9月30日まで、北京在住のアーティスト、冯澍(フェン・シュイ)の新作をホテルのアトリウムにて展示を開始しました。



フェン・シュイのスカル (F2 Gallery)

今回の展示は、ザ・オポジットハウスで昨年催された「ポスト・ピリオド・インセクツ展」の続編です。クリスタルのように光り輝くサソリ、新しいトンボや新しく作られた蝶々など、「ポスト・ピリオド・インセクツ」シリーズの新しい作品が発表されています。蝶はもともと、「アート・イン・ステーション・アーキテクチャー(駅建築内のアート)」プログラムの一部として、香港MTRの大圍駅(大圍站)に常設されるはずのものでした。また、展示のもうひとつのメインは、2008年の作品で、セラミックとステンレスで作られた大きな髑髏、「リペア」です。ロマンティックでおとぎ話から出てきたような昆虫たちが並ぶ中、全く正反対の雰囲気を持つリペアは、そのデリケートな作りが完璧に多くの展示作品に調和しています。

「この昆虫たちは、自分の幼少期を愛おしく懐かしく思っているということを意味しているのかもしれませんが。そして未来へも大きな期待があるということなのです。」とフェン・シュイは作品について語っています。

フェン・シュイはまだ若いアーティストで、伝統的な中国の陶芸とモダン・インダストリーをツールとして、そしてインスピレーションとしても取り入れています。前者は、現代の中国の美学にも影響を与えている王室のイデオロギーを象徴しており、後者は日本や北米のアート・ムーブメントの影響を受けながら人間性を表しています。

詳細まで洗練され、ペイントされたフェン・シュイ作品はスチール製の手足など、まるでSFの世界から出てきたようです。表面はパステルカラーの花模様や抽象的な幾何学の三角模様、さらにはいかにもコンテンポラリーな、不規則な形等がハンドペイントされています。

フェン・シュイのコンセプトでは、ペイントされたセラミックのボディーとクロムの手足を混ぜる手法で「飛行」をイメージして生まれました。何か新しいものは「すぐに飛んで消えてしまう」、だからこそ自らを再発明しなくてはならないという認識からきています。



スワロスキーをまとったサソリ (F2 Gallery)



手前はフェン・シュイ作の昆虫 (F2 Gallery)
後方は、ジン・ユウによるタッチ・スポット・シリーズ

北京在住のアーティストであるフェン・シュイは1981年に生まれ、北京中央美術学院にて美術の学士号を2005年に、さらに修士号を2009年に取得しています。

若い新鋭アーティストとして、フェン・シュイの作品はすでに、北京の中国美術館、広州の広東美術館、フィンランドのサラヒルデン美術館、そしてイタリアの国際陶芸美術館など、国内外の様々な美術館にて展示されています。また、フェン・シュイの作品は中国、ヨーロッパ、アメリカ、メキシコ等の国において、多くのパブリック・コレクションやプライベート・コレクションに所蔵されています。

F2ギャラリーについて

F2ギャラリーは、有名な北京798芸術区に隣接する最先端のアートエリア、草場地(草場地/カオチャンディ)に位置します。のどかな中庭に建つギャラリーは、青々と茂る中にそびえ、オーナーとクライアント、そして彼らが収集し、展示しているアーティストとの密で近い関係を表現しているようです。

F2ギャラリーは、最先端の、あらゆる形式の一流コンテンポラリー・アートが、中国と西洋との間、異文化間で交流されるよう貢献していきたいと考えています。さらにF2ギャラリーでは、アーティストや顧客、会社法人、公的機関や博物館のためにスペシャリストによるコンサルタント・サービスも行っています。

F2 Gallery 問い合わせ先：
No. 319 Cao Changdi, Chaoyang District
Beijing, China 100015

Miriam Deller
International mobile: (43) 699 1781 0912
E-mail: F2Gallery.Press@corepowerasia.com
Website: www.f2gallery.com



ザ・オポジットハウスについて

ザ・オポジットハウスはスワイヤー・プロパティが北京の中心地に開発した、ショッピング、ダイニング、エンターテインメントのオープンプラン型複合施設です。その中心部分のホテル、ザ・オポジットハウスは9室の広々としたスイートと、240㎡のルーフトップテラス付き、メゾネット式ペントハウスを含む99室のスタジオルームを有します。

全スタジオルームの半数以上が70㎡の広さを誇り、天然木を用いたフローリング、心地よく注がれる天然光など、自然のぬくもりを大切に、チャイニーズタッチをほどよくちりばめた、心地よいこぢんまりとしたラグジュアリーホテルです。

スワイヤー・ホテルズについて

スワイヤー・ホテルズは、テイラーメイドなパーソナルサービスで、すべてのトラベラーに個性あふれるホテル滞在を提供するスモールラグジュアリーなホテルを香港、中国本土、イギリスにおいて運営することを目的として発足しました。

2008年オープンのザ・オポジットハウス(北京)に続き、香港のパシフィックプレイス上部に2009年10月、117室のラグジュアリーホテル、ザ・アッパーハウスをオープンしました。さらに、スワイヤー・ホテルズは、ライフスタイル・ビジネス・ホテル カテゴリーの「イースト」(345室)を香港島東部にも2010年1月にオープンしました。

イギリスでのスワイヤー・ホテルズは2010年より、いくつかの都市にラグジュアリー・ブティックホテルのコレクションを展開してゆく予定です。

三里屯ヴィレッジについて

三里屯ヴィレッジは北京の朝陽区、工人体育场(工人體育場)北路と三里屯路との交差点に位置し、二つに分かれている敷地を合わせると53,000平米の土地を誇ります。99部屋の魅力的なアーバン・ホテル、ザ・オポジットハウスをはじめ、19以上の建物が建ち並び、そのフロア面積は136,000平米(*)にもなります。

昔の北京によく見られた中庭や路地にインスパイアされ、三里屯の騒々しい胡同の周りに建てられたヴィレッジは、コスモポリタンな首都である現在の北京がミックスされています。現在では、200以上の店舗、カフェ、レストランやバー、8スクリーンのシネマ・コンプレックス「メガボックス」、ユニークな文化娯楽施設、さらに800台以上収容可能な駐車場が開発されています。詳細はウェブサイトをごらんください、www.sanlitunvillage.com

三里屯ヴィレッジの商業施設は、スワイヤー・プロパティとゲートウェイ・チャイナ・ファンド I の合同所有で、その内訳はスワイヤー・プロパティが80%、ゲートウェイ・チャイナ・ファンド I が残りの20%を保有しています。またホテルには100%スワイヤー・プロパティの所有です。

*フロア面積は駐車場を除く

このプレス・リリースに関するお問い合わせ、資料送付のご希望は、
スワイヤー・ホテルズ(ザ・オポジットハウス) PR代理店、ケントス・ネットワークまでご連絡ください。
TEL : 03-3403-5328 / e-mail : info@kentosnetwork.co.jp
<http://www.kentosnetwork.co.jp>

